

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 20.11.27 第 170 回国会第 2 号

11月27日、第2回の委員会が開かれました。

1 柴山外務大臣政務官から就任の挨拶が行われました。

2 国の安全保障に関する件

- ・中曽根外務大臣、浜田防衛大臣、宮澤内閣府副大臣、伊藤外務副大臣、武田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

嘉 数 知 賢君(自民)

- ・田母神航空幕僚長(当時)(以下「前空幕長」という。)が政府見解と異なる内容の論文を懸賞論文に応募した問題(以下「田母神問題」という。)を踏まえ、我が国シブリアンコントロールがしっかり機能し、自衛隊が国民に信頼されるような防衛省改革を着実にを行うと同時に、隊員の教育改革も行う必要があると考えるが、今後の防衛省の取組みについて、浜田防衛大臣の決意を伺いたい。
- ・現在米軍に提供されている沖縄県の鳥島で、射爆撃訓練により、島の浸食が進み、島自体が消滅する危険性が生じていることから、政府として速やかに島の実態調査を実施するとともに、早急な対応策及び返還について、日米間で協議する必要があると考えるが、浜田防衛大臣及び中曽根外務大臣の見解を伺いたい。

佐 藤 茂 樹君(公明)

- ・クラスター爆弾の被害者支援等に、我が国が今後 600 万ドル(約 6 億円)を支出する方針を固めたとの報道があるが事実か、また、支援対象国にはどのような国を考えているのか、中曽根外務大臣に伺いたい。
- ・クラスター爆弾禁止条約に署名しないことを表明している主要生産・保有国に対し、我が国がクラスター爆弾の廃棄を強く働きかける必要があると考えるが、中曽根外務大臣の見解を伺いたい。
- ・田母神問題に関し、防衛省を挙げての徹底した事実関係の調査とともに、外部有識者等の参加を得て、再発防止策を検討する委員会を設置する必要があると考えるが、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。

長 島 昭 久君(民主)

- ・ソマリア沖・アデン湾における海賊対策のため、現行海上自衛隊が取り得る対応は、海上警備行動であると考え

るが、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・ソマリア沖・アデン湾における海賊対策のための海上警備行動を発令するに当たって、考慮すべき事項は何があるのか、浜田防衛大臣に伺いたい。
- ・対馬や横須賀などの重要な防衛施設周辺の土地が安易に外国資本に買収される可能性があることを踏まえ、大正 14 年に制定され、現在でも効力のある「外国人土地法」による規制を行う必要性に対する浜田防衛大臣の見解を伺いたい。

神 風 英 男君(民主)

- ・本年 7 月に対馬を韓国領土と確認し、返還を求める決議案が韓国国会に提出されている状況の中で、海上自衛隊対馬防備隊本部隣接地を含め、対馬の不動産が次々と韓国系企業等に買収されている現状について、浜田防衛大臣はどのような認識を有しているのか。
- ・安全保障上の観点から、国境付近の離島における外国資本の不動産取得を制限する新法を制定する必要性について、浜田防衛大臣はどのように考えているのか。
- ・冷戦中と冷戦後では安全保障環境が変化しているにもかかわらず、防衛関係予算における各自衛隊の比率がほとんど変化していないことについて、浜田防衛大臣はどのような認識を有しているのか。

川 内 博 史君(民主)

- ・前空幕長は、最近発売された月刊誌(『W i L L 2009 年 1 月号』)において、「日本は悪い国だ」「侵略国家だ」と思いこまれていると主張しているが、政府の公式文書で、我が国が悪い国又は侵略国家であるとしているものは存在するのか、中曽根外務大臣に伺いたい。
- ・前空幕長がこれまでに行った航空自衛隊隊内誌『鵬友』への寄稿、統合幕僚学校における「歴史観・国家観」講座の開設及び今回問題となった論文の応募の意図につい

て、防衛省当局はどのように認識しているのか。

- ・前空幕長が、統合幕僚学校長時代に、「歴史観・国家観」の講座を開設したのは、特定の政治的目的を持って、自己の価値観を広めようとした可能性があるが、前空幕長の政治的目的の有無等について、調査する必要があるのではないか、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。

赤嶺政賢君（共産）

- ・沖縄における漁業振興の観点からも鳥島及びその周辺の米軍訓練水域等の返還を日米合同委員会に提起すべきではないか、中曽根外務大臣の見解を伺いたい。
- ・田母神問題を踏まえ、自衛隊内部における政府見解と異なる教育の現状について徹底的に調査し、その結果を公表する必要があるのではないか、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・『鵬友』において、別の空将が、旧軍の過ちを極端なまでに強調する歴史教育が行われていると批判し、その例として、沖縄における集団自決問題等を挙げていることは看過できないが、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。

辻元清美君（社民）

- ・田母神問題に関連し、統合幕僚学校での「歴史観・国家観」講座の講師選定について、11月21日の記者会見で「適切であったと判断することはなかなか難しい」と述べた趣旨は何か、浜田防衛大臣に伺いたい。
- ・前空幕長が統合幕僚学校長であった当時の同校教育課長が前空幕長と同じ考え方で講義を行っていた可能性が高く、仮にそれが事実であった場合の問題点について、浜

田防衛大臣の認識を伺いたい。

- ・田母神問題に関する調査委員会を設置し、自衛隊における歴史教育の実態等を含めた調査を行った上で、報告書を提出すべきではないのか、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。

下地幹郎君（国民）

- ・田母神問題に関連し、自衛隊は、「二度と戦争を起こさない」という決意を国民と共有しながら、国民の信頼を得て、任務に邁進することが必要と考えるが、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・南大東空港及び北大東空港からの緊急患者輸送をより迅速に行うためには、自衛隊の固定翼機が夜間でも離着陸できるように施設整備を行う必要があるが、防衛省側が提示した「ランタン」の設置で十分対応できるのか。また、その整備はいつ完了するのか。
- ・自衛隊機と民間航空機が共同使用する那覇空港の離着陸回数が限界に近づいている現状は、国防上の観点からも、観光を主要産業とする県民経済上の観点からも、問題があると考えますが、当面の方策として自衛隊機の離着陸を那覇空港から米軍嘉手納飛行場に移すことなどにより民間機の離着陸回数を確保するという考えに対する浜田防衛大臣の見解を伺いたい。